



みんなで守る大切な命

Q 生成AI（人口知能）を利用している中学生の割合はどれ？
ア. 8.6% イ. 30.8% ウ. 46.2%

出典) こども家庭庁 令和7年 青少年のインターネット利用環境調査 調査結果(速報) (令和8年2月)

子どもたちをインターネット上の有害情報から守ろう

子どもたちのスマートフォンや従来型携帯電話の所持率は年齢と共に上昇し、コミュニティサイトを通じてのトラブルが増加傾向にあります。日常生活にネット利用が必要不可欠だからこそ「ケータイ・スマホに関する具体的な家庭のルール」を子どもと一緒に作りましょう。

家庭のルールの具体例

- ・困ったときにはすぐに大人に相談する
- ・利用する場所や時間帯を決める
- ・知らない人からのメッセージに返信しない
- ・名前、学校名などは書き込まない
- ・顔写真は載せない
- ・インターネットを使わない子を仲間外れにしない
- ・他の家庭のルールを尊重する

フィルタリングの有効化は義務化されているのをご存知ですか？

明石市内におけるSNSに起因する問題行動件数上位



兵庫県の青少年愛護条例により「インターネットを利用することができる端末(スマホ・パソコン等)のフィルタリングを有効化措置することが義務化」されています。(2016年4月1日～)

少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化等により、地域や家庭の子育て力・教育力が低下しています。地域ぐるみで「大人がかわれば子どももかわる」の考え方からコミュニケーションを見つめ直しませんか。人とのコミュニケーションが楽しければ、子どもたちのスマホやゲームに向かう時間が自然と減り、インターネット上の有害情報から離れるだけでなく、依存の予防にもつながります。

子どもに関する相談のご案内

明石市では、子どもに関する相談を受け付けています。悩みごとなどございましたら、お気軽にご活用ください。

乳幼児期の子育て相談(0歳～6歳)

「お友達と遊ぶのが苦手のようなのですが」
「最近よくかんしゃくを起こすのですが体の具合が悪いのでしょうか」
「相談したいが近くに相談する相手がないのですが」
など、就学前の子育てについてのお悩み相談

【相談受付時間】9時00分～17時00分

※毎月最終水曜日(最終水曜日が祝日、年末年始の場合はその前週の水曜日)、年末年始を除く

あかし子育て相談室 TEL 078-918-5610

子どもの教育についての相談(6歳～18歳)

○いじめ ○不登校 ○問題行動(非行、不良行為など)
○その他の教育相談(親子・友人関係、子育て、発達障害、ヤングケアラーなど)

【相談受付時間】9時00分～17時00分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※メールでの相談受付は24時間しております
メール soudan2025@city.akashi.lg.jp

教育委員会児童生徒支援課青少年育成センター
TEL 078-918-5410 FAX 078-918-5135

子育て全般についての相談(0～18歳)

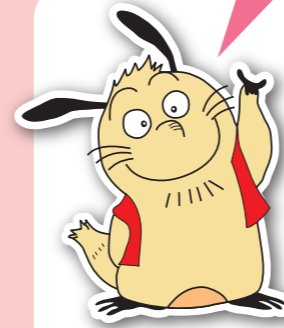
育て方やしつけ、心身の発達など、子育て全般についてのお悩み相談

【相談受付時間】24時間365日受付

あかし子育て相談ダイヤル

TEL 078-926-2525
FAX 078-926-2424

メール soudan24@akashi-kosodate.jp



支えあい、安心して暮らせる地域に

Q 認知症を正しく理解し、自分にできる範囲で認知症の人を応援する「オレンジサポーター」は、2025年末時点で明石市に何人いるでしょう？
ア. 約280人
イ. 約2,800人
ウ. 約28,000人



認知症になっても、「その人らしさ」を大切に

認知症とは？

認知症とは、認識したり、記憶したり、判断したりする力が病気により減退し、社会生活に支障をきたす状態のことです。決して他人ごとではなく、年をとれば誰にでも起こりえる身近な病気です。

認知症の人の気持ち

症状の進行により記憶が途切れがちになっても、認知症の人の心は豊かに生きています。気持ちを言葉でうまく表せないことがあります。楽しい、うれしい、感謝の気持ち、怒りや悲しみ、悔しさなど、その想いは変わりありません。また、人生において培ってきたその人なりの価値観や人格を持ち続けています。認知症により戸惑う本人の声を聞き、気持ちを理解し、やさしく接することが大切です。

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

1. 驚かせない

2. 急がせない



3. 自尊心を傷つけない

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づく「新しい認知症観」や「正しい理解」をするために、「オレンジサポーター養成講座」を開催しています。

講座のテキストや内容も基本法の施行に伴って一新され、認知症の人本人や家族の視点を盛り込まれることで、より分かりやすくなっています。

無料で認知症を学ぶことができ、バッジやリング、テキストなどのグッズももらえるオレンジサポーター養成講座を、受講してみませんか。

また、「認知症のキホン」には認知症の診断費用の全額助成などの施策や、実用的な情報をまとめています。二次元コードよりご覧ください。

